

# ぼうさい通信 Vol.78



令和6年7月16日発行  
熊本県立湧心館高等学校

## 今月のテーマ「夏の台風」

早いもので7月になりました。毎日暑い日が続いています。沖縄県はすでに梅雨明けしましたが、九州は例年と比べ少し遅れて梅雨に入りました。今年も例年と比べ異常気象で、全国の気温も40度を超えて梅雨入りは例年と比べ少し遅い気がします。梅雨の大雨による災害で土砂災害や川の氾濫も発生しています。

九州ももうすぐ梅雨明けそうです。いよいよ夏の到来です。夏といえば毎年日本にやって来る台風が気になりますね。日本では、1991年から2023年までの33年間の平均を見ると、1年間に約24.8個の台風が発生しています。したがって、2024年も約24.8個の台風が日本に接近し、上陸すると考えられます。

日本で台風シーズンといえば、7月から10月頃です。その理由は、夏になると日本付近の南側で勢力を強くする「太平洋高気圧」の影響下にあるからです。また、台風は渦状の強い気流で、高気圧の縁に沿って北上する性質があります。夏から秋の時期には、勢力を強めた太平洋高気圧の縁の部分に、ちょうど日本列島が位置しているので、日本列島が台風の通り道になっているのです。

夏に発生する台風の特徴として、夏は日本付近を夏の高気圧が覆っていて、のろのろ動くことが多いので、動きが遅くなります。また時期的には、海水の温度が高くなることで、南の海上で台風が発生しやすくなり、被害も大きくなります。

台風の進路を予測しながら、万全の準備をし、避難することが大切です。高波などの可能性を考慮して、高台に避難する準備が必要です。学校からのメール連絡だけでなく、ニュース等で情報を収集し、台風の進路を確認することが大切です。

台風が直接通過しても少し逸れても停電になると電気も水も使えなくなり、生活に支障を来します。そのため登校できなくなることも生じてきます。登校する際は安全確保のため、状況によっては、台風が通り過ぎるまで自宅で暫く待機しておくことが望まれます。また日頃から台風情報を収集し状況を把握しておくことが大切です。

今年は日本を通過する台風の数はいくらになるのかわかりませんが、既に6月に台風が発生しています。今後、台風の接近数や上陸数も増えてくるでしょう。台風通過後は後方付けにも時間がかかります。台風前の普通の生活に戻るのにもかなりの時間がかかります。できるだけ被害を少なくする「減災」を心がけて、災害に備えましょう。



### 〈台風シーズン前にやっておくこととは？〉

1. ハザードマップを確認する。
2. 避難場所の確認。

台風に備えるためには、雨戸の戸締まりが重要です。  
近年では雨戸のない家やマンションなどの集合住宅の大半は雨戸が設置してないので、強風対策が大切になります。

#### 【強風対策】

- ①外に物を置かない

台風では暴風によって窓ガラスが割れる事故がよく起きますが、強風だけが原因で窓が割れるケースはそれほど多くありません。強風で窓ガラスが割れるのは、物がガラスに衝突することで窓ガラスが割れるのです。

- ②雨戸をチェック

雨戸は多くの家屋に設置されていますが、強風によって高いところから雨戸が落ちたり、雨戸が風で飛ばされる危険性があります。簡単に外せるタイプの雨戸などは、事前に対策が必要です。台風が近づいてきたら、雨戸の「はずれ止め」をきちんとセットしましょう。

- ③窓ガラスに養生テープを貼る

窓ガラスに強風で飛んできた物がぶつかって割れると、ガラスの破片が飛散するため、大変危険です。台風や強風の予報が出たら「×印」や「米」の字のようにテープを貼ることで、割れたときの飛散を防止することができます。

3. 避難時に用意しておく物の確認。

- ・緊急連絡先      ・水（＋α）      ・常備薬      ・懐中電灯
- ・トイレットペーパー      ・非常食      ・歯ブラシ      ・予備電池
- ・タオル      ・除菌ウェットティッシュなど。

### 〈避難場所での生活は？〉

今は新型コロナウイルスの影響が5類に移ったとはいえ、インフルエンザや新型コロナウイルスにも気をつけなければなりません。共同生活をしている避難所では、うがい・手洗い・咳エチケット等、十分に気をつけなくてはなりません。また避難所でのトイレ等では、断水等の影響で一時使用できないなど不便な状況が考えられますし、季節によって避難準備するものも異なってきます。

自然災害の多い日本だからこそ、日頃から減災を意識した避難準備を心がけて、被災した時に冷静に避難できるようしっかり対策しておきましょう。

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)  
本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版 マイタイムライン)は、  
<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。

